

口永良部島の噴火警戒レベルを 1 へ引下げ

本日（17 日）15 時 30 分に口永良部島の噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

口永良部島では、7 月 9 日 01 時頃から火山性地震が増加していると判断し、9 日 02 時 25 分に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）に引き上げましたが、その後、地震計で観測された波形を精査するとともに、現地調査の結果等も踏まえ、9 日に観測された波形は火山活動の高まりを示すものである可能性は低いと判断しました。

このことから、本日（17 日）15 時 30 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（活火山であることに留意）に引き下げました。

活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。また、新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

問合せ先：地震火山部 火山監視課 安藤、飯野
電話 03-6758-3900（内線 5184、5211）